

非常変災時の対応見直しに関する Q&A

Q1 なぜ年度途中で対応を変更するのですか。

A 9月の警報発令時には、「集団下校」「学校待機」「引き渡し」など複数の対応が重なり、保護者からの変更連絡や校内での情報共有が複雑になりました。児童が「自分はどうすればよいのか」と迷う場面もあったため、今回の反省を踏まえ、児童の安全を第一に、より分かりやすく確実に対応できる方法へ見直しました。

Q2 登校後に警報が発令された場合は、必ずすぐに下校するのですか。

A いいえ。警報の種類や雨量、河川・通学路の状況、今後の気象見通しなどを踏まえ、学校が状況に応じて判断します。対応が決まり次第、コドモンでお知らせしますので、学校からの連絡をご確認ください。

Q3 なぜ午前中に下校する場合は、全員「引き渡し」なのですか。

A 午前中に下校する場合は給食がなく、放課後こどもクラブ（しらゆり）も開設されません。また、警報発令中に児童だけで下校させることによる安全上のリスクを避けるため、全員を保護者等への「引き渡し」とします。

Q4 なぜ午前中は集団下校を行わないのですか。

A 通学路には河川を渡る地区などもあり、警報発令時に集団で下校することが、必ずしも安全につながるとは限りません。また、今回は下校方法の変更が短時間に集中し、学校・児童・保護者間の情報共有が複雑になりました。そのため、午前中に下校する場合は対応を「引き渡し」に統一します。

Q5 午前中に引き渡しとなった場合、すぐに迎えに行けないときはどうすればよいですか。

A 学校からコドモンでお知らせしますので、連絡内容をご確認のうえ、お迎えの調整をお願いします。安全確保のため、引き渡しの方法や時間等については、その際の学校からの連絡に沿ってご対応ください。

Q6 午後に下校する場合は、どのような対応になりますか。

A 午後に下校する場合は、給食後に「一斉下校」または「引き渡し」とします。どちらの対応とするかは、その時点の警報や気象状況、通学路の安全等を踏まえて学校が判断し、コドモンでお知らせします。

Q7 午後の対応で、放課後こどもクラブ（しらゆり）を利用している児童はどうなりますか。

A 午後に下校する場合、放課後こどもクラブ（しらゆり）の児童は、開設される場合はそのまま参加します。その後の対応については、しらゆりからの連絡をご確認ください。

Q8 「一斉下校」と「引き渡し」は、何を基準に決めるのですか。

A 児童の安全を最優先に、警報の状況、雨量や河川の状況、通学路の安全、今後の気象見通しなどを総合的に確認して判断します。状況は刻々と変化するため、あらかじめ一律に決めるのではなく、その時点でより安全と考えられる方法を選択します。

Q9 なぜ車でのお迎えは控える必要があるのですか。

A 多数の車が学校周辺に集中すると、近隣の方の通行の妨げになるだけでなく、児童や徒歩で来校される保護者の安全確保が難しくなります。緊急時ほど学校周辺の混雑を避ける必要があるため、原則として車でのお迎えはご遠慮ください。

Q10 予定していた下校時刻と実際の時刻がずれることはありますか。

A あります。非常変災時は、児童の人数確認、通学路の安全確認、保護者への連絡、校内での情報共有などを行ったうえで対応します。安全確認を優先するため、当初お知らせした時刻から前後する場合があります。

※非常変災時は、状況により対応を変更する場合があります。最新の対応は、学校からのコドモン連絡をご確認ください。